

TAG 育成用帳票	受験番号	氏名	レポート出力日
			2020年11月27日

この資料は適性検査結果に基づき、本人の特徴とそれに適した周囲の関わり方をまとめたものです。本人の特徴を把握した上で、より効果的な育成を行うための参考資料としてお役立てください。



自己主張をして、相手を自分の思う方向にひっぱっていきたいと考えているようです。自己顕示欲が強く、人前で堂々としていられるタイプです。他人との関わり合いというよりも、自分について常に意識していることのほうが多いかもしれません。その一方で、共感性に欠ける面があったり、人と疎遠になりがちになる面があったりという可能性もあるかもしれません。

また、新しいものの見方をしようとします。問題にぶつかったときに、柔軟に問題をとらえ、いろいろな角度から発想して、解決案を案出することが得意なようです。全く新しい独自の工夫をすることが好きで、人と同じような定型のやり方や考え方を好まないでしょう。その一方で、人の出したアイデアや考えにすぐに従わなかったり、独創的なアイデアを出し周囲から理解が得られにくかったりする可能性もあるかもしれません。

### コミュニケーションのとり方

あえて相手とは異なる考えをぶつけることで、インパクトを与えて主導権をとろうとするタイプです。自分の考えや意見を強く押し出す傾向があるので、受け取る側も保守的なスタンスではなく、発想の面白さや役に立つ部分を認めてあげると、より意欲的に取り組んでくれるでしょう。

### つまずきがちな場面とそのときのサポートの仕方

アイデアや考えを自由に提案できなかつたり、決まった方法でしか物事を進められない環境にストレスを感じやすいようです。従来の方法よりもよい方法がないか意見を求めるとともに、変えた場合のメリットやデメリット、変える費用や手間と効果のバランスもよく吟味し、場合によっては既存の方法のほうが有効であることも理解させるとよいでしょう。同じ作業の繰り返しや、日々の変化が少ない仕事にストレスを感じやすいようです。単純作業であっても、それが会社全体の中でどのような役割や価値を持っているか理解させるとともに、非効率な業務があれば改善策を検討するように促すとよいでしょう。



### 日々のサポート体制

自分自身の意見を強く持ち主張したいと考えるタイプなので、その主張を受け止められる先輩がサポートとしてつき、本人の考え・主張を尊重してあげられると心地よくいられるでしょう。ただし、個人の考えだけでなく、会社や組織としての考え方も認識しておく必要があることを伝え、その主張が会社・組織にとって価値のあるものになるよう促していけるとよいでしょう。



memo

---



---



---



---



---



---



---



---

### 結果の見方

各項目の結果は、10段階(標準点)で表示されています。基準母集団と比較して、受験者がどの位置にいるかを示しています。各標準点の出現率は図の通りです。

